

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立大田小学校
-----	------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表などを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができている。</li> <li>・話し手のことを考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが概ねできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</li> <li>・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。</li> <li>・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることが概ねできている。</li> <li>・異分母の分数の加法の計算をすることが概ねできている。</li> <li>・簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことが概ねできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。</li> <li>・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。</li> <li>・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。</li> <li>・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が概ね身に付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていること。</li> <li>・乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いていること。</li> </ul>
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと、すべての児童が感じている。</li> <li>・人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。</li> <li>・生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をした経験のある児童が多い。</li> <li>・ICT機器を活用することで、分からないことを直ぐに調べることができたり、学習内容がより分かりやすくなったりすると感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの児童が基本的な生活習慣を身に付けているが、朝食を食べていなかったり、起床や就寝の時間が決まっていなかったりする児童が一定数いること。</li> <li>・普段の生活の中で、読書をする児童が非常に少ないこと。</li> <li>・学校の授業以外に、ICT機器を学習のため使っている児童が少ないこと。</li> <li>・ICT機器を活用して、情報を整理したり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたりすることが苦手な児童が多いこと。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学習を苦手と感じている児童が少なくないことが結果から読み取れるので、児童が国語に興味・関心を持ち、前向きに学習に取り組めるように、授業改善に努めていく。</li> <li>・文章と図表などを結び付け、目的や意図に応じて相手に伝わるような書き表し方を系統的に指導していくとともに、書く指導を意図的に増やしていく。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じてグラフを読み取り、それを選んだ理由を記述する力を算数の授業だけでなく、モジュールの時間も活用しながら、自分の考えを記述する学習を多く取り入れていく。</li> <li>・共通する単位分数の幾つ分について、視覚的に捉えられるよう具体物を取り入れたり、ICT機器を活用したりしながら、学習を進めていく。</li> </ul> <p><b>【理科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の結果をまとめる時、具体的な数値などで表し、それを元に自分と他者の違いや共通点を捉え、それを根拠とした考えを記述する学習場面を設定していく。</li> <li>・児童が意欲的に学習できるよう、具体物を用いたり、ICT機器を利用したりする活動を多く取り入れ、苦手とする磁石や電気などの「エネルギー」を柱とする領域の充実を図っていく。</li> </ul>
---

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<p>ご家庭の皆様、地域の皆様、日頃から、学校教育へのご理解ご協力ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の質問調査の回答から、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と、すべての児童が感じていることが分かりました。学校では、「相手を思いやる気持ち」を道徳や日頃の学校生活の中で培っております。何か起こった時も、担任だけでなく児童指導担当教諭を中心に学校全体で全力で解決に取り組んでいます。また、学校の指導だけでなく、ご家庭でもそのような考えを持ち、お子様に接していただいているからこそその結果だと思えます。今後も、学校と保護者の皆様で手を取り合い、お子様が健やかに成長できるよう、ご協力お願いいたします。</li> <li>・児童にとってICT機器はとて身近なものとなっています。学習でも多くの児童がICT機器の活用で学習がより分かりやすくなったと考えています。その反面、スマートフォン、ゲーム機器等の利用のマナー・使用時間など課題があり、年々、ネット上でのトラブルが増えています。なかなか確認できないネット上のトラブルを未然に防ぐには、まずは、ご家庭でお子様と話し合い、安全対策、利用マナー、ルールの徹底を図ることが何より大切と考えます。学校でも、外部講師を招いた情報モラル教室を開催したり、学年にあった指導を行ったりと、トラブルを未然に防げるよう指導しております。</li> </ul> <p>最後に、お忙しい中、地域、保護者の皆様には、登下校の見守りや通学路点検等、児童が安全・安心に過ごせるよう見守りいただくとともに、様々な体験学習にご協力いただき、感謝申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。</p>
---